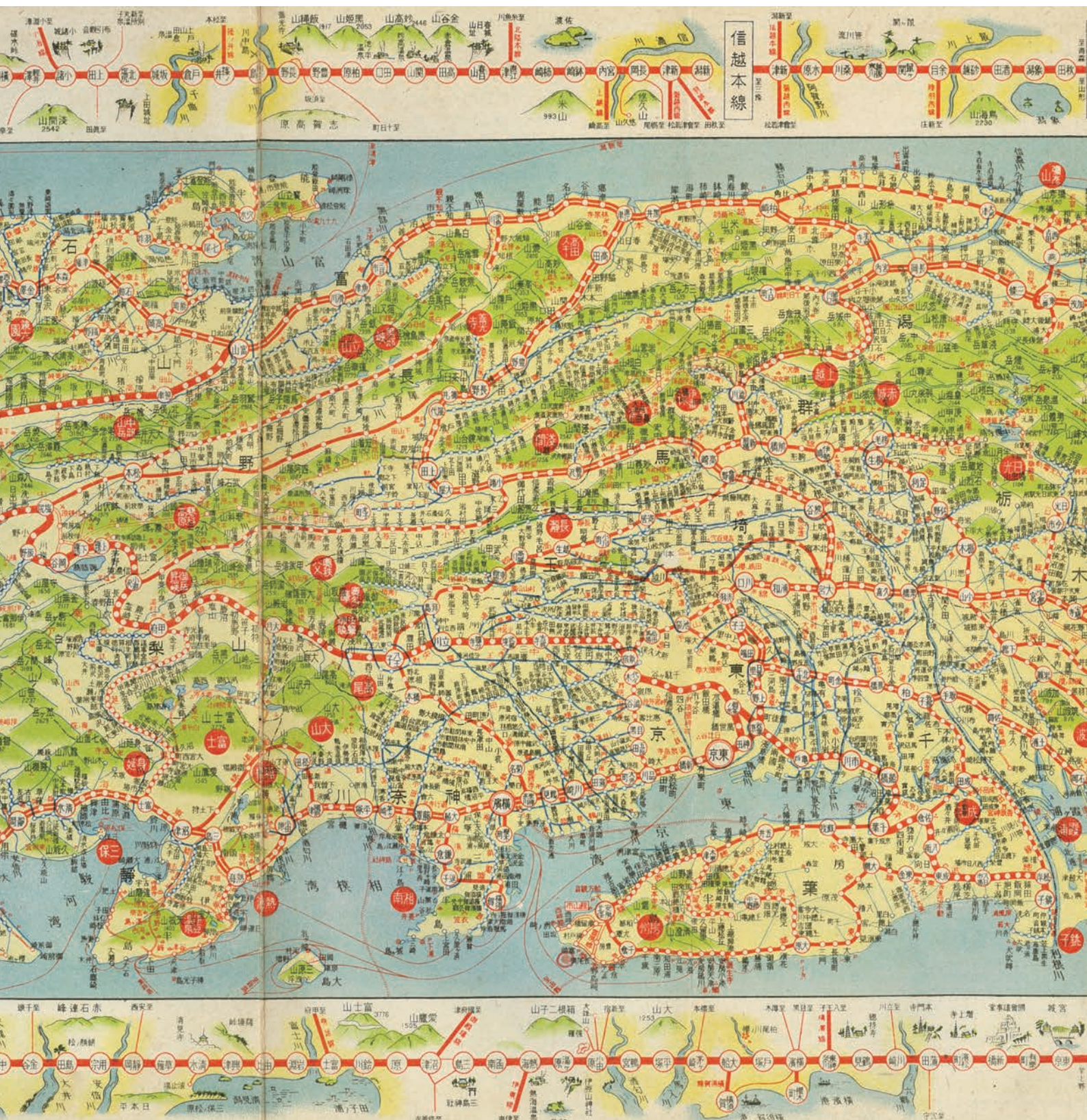


地[★]情報

特集 昭和100年の地図



巻頭随筆

地形図を最初買った頃	清水靖夫	2
------------	------	---

特集 昭和 100 年の地図

民間地図の 100 年	芳賀 啓	4
教科書の地図帳	佐藤 清	10
緑地からみた東京の都市計画図の百年	若林芳樹	14
地理教育における地形図読図の昭和 100 年	卜部勝彦	19
社会科における掛図と地球儀の活用	吉田和義	24

地図楽

地図と私 地図と歩む	谷内 達	28
鉄道古地図めぐり⑫ 「東京中心鐵道地圖」より最新東京電車案内	今尾恵介	30

文献紹介

旧版地形図類の基礎的研究	津沢正晴	32
主題図のはじまり	中島健太	32
昭和 100 年地図帳	井田浩三	33
大人のための離島探訪－島の不思議を凸凹地図で体感！－	八島邦夫	34

資料室

2025 年 6 月～ 2025 年 8 月号	36
-------------------------	----

お知らせ

(一財) 地図情報センターからのお知らせ	43
付録 2026 年カレンダー	



文献紹介

旧版地形図類の基礎的研究

清水靖夫 著

B5 判 444 頁

発行 創元社 2025年6月

定価 30,800 円 (本体 28,000 円 + 税)

本書は、地図情報センター顧問であり日本地図学会名誉会員でもある清水靖夫先生（以降「著者」）による、近代測量導入後の日本で作成された地形図類についての論文や解説等を基に、之潮社主の芳賀啓先生が著者と連携のうえで一部補完しつつ構成・編集した著作である。

カラー口絵（8ページ）と芳賀先生による緒言に続いて、伊能測量が始まった1800（寛政12）年から本書刊行直前2024（令和6）年までの7ページにわたる年表が掲げられている。

5つの章からなる本文の概要は次のとおりである。

第I章 正式図以前

陸軍参謀局と内務省地理局それぞれの測図から参謀本部陸地測量部への統合（1891年）。国の測量地図機関と基本図の試行錯誤の時代である。

本章の元稿は、日本国際地図学会（現・日本地図学会）『地図』誌に1960～80年代に掲載された論説である。

第II章 正式2万分1地形図

2万分1地形図の整備が1885年に始まったが、全国の測量には膨大な期間と経費を要することから基本縮尺は5万分1に変更され、1924年に全国整備が完了した。

元稿は、地図資料編纂会編（2001～2003）『正式二万分一地形図集成』（柏書房）の解題（別冊）で、各地域の地誌にも言及されている。

第III章 1万分1地形図と東京の大縮尺図

旧1万分1地形図を中心に東京とその近郊における大縮尺地図などについての論考で、元稿は1980年代に刊行された大縮尺地形図類の集成資料群（柏書房）の解題である。

関連して、『地図』誌掲載の論説を基に、東京西郊の3千分1地形図や地籍図に似た都市地図類など、現在ではあまり知られていない地図類も紹介されている。

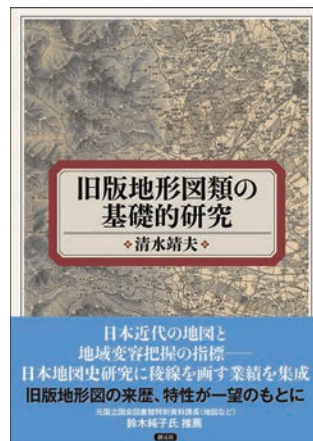
第IV章 琉球諸島と旧植民地の地形図

章題の印象よりも広範囲におよび、台湾（臺灣）や朝鮮半島など旧植民地だけでなく、樺太や千島列島の地図にも言及されている。内地でもみられた「秘図」や「改描」が頻繁にでてくる。さらに北樺太のような緊張関係の外国領の地図を描いた事例や「記憶測図」という相当に踏み込んだ手法も紹介されている。

元稿は著者が勤務していた立教高校の研究紀要であるが、小林茂・大阪大学名誉教授による外邦図の研究とも関わっている。

第V章 地形図誌の基礎

前章までの総括的な事項に対し、地図一覧図と、地形図における鉄道表現についての考察であり、元稿は『地図』誌掲載の論説である。



以上のように、本書によって近代日本の地形図類の歴史が一望できる。各章は、地図史研究の論説であるとともに、時代・地域・仕様毎の旧版地形図類の一覧表や図版が掲げられ、資料集としての価値も高い。参考として、本文のうち図表のみが占めるページ数をカウントしたところI～V章合計で5割となった。

さらに本書434頁「初出一覧」を参照することで、元稿が執筆された時代の視点を併せて得られる。たとえば、第I章では2万5千分1地形図が全国整備以前の時期における各地の地図所在の状況を、第III章では、新1万分1地形図への当時の期待感を、それぞれ伺うことができる。

旧版地形図の来歴・特性を一望する本書の記述から垣間見えるのは、戦後日本の地図学研究の歩みである。

（元国土地理院 津沢正晴）

主題図のはじまり

アーサー・H・ロビンソン 著 鈴木厚志 訳

B5 判 246 頁

発行 帝国書院 2025年4月

定価 4,400 円 (本体 4,000 円 + 税)

アーサー・H・ロビンソン著。投影法の一つとして知られる「ロビンソン図法」は、私自身もしばしば作図に利用してきた。そんな図法の名を冠する著者が、主題図の誕生と発展をたどった一冊を著していると知り、思わず手に取った。いまやGISの普及によって多種多様な主題図が日々つくられているが、その源流がどのように形づくられてきたのかを知るうえで、本書は格好の案内役となってくれる。

序章では、まず地図の歴史や基本的な役割が紹介される。人類が地表を記録するために工夫してきた方法を



振り返りながら、一般図が果たしてきた役割を説明し、それと対比する形で主題図の特徴が語られていく。測量や印刷の進歩が地図をより豊かにし、そこから主題図が生まれてくる流れが自然に理解できるようになっている。

続く章では、17世紀半ばから19世紀半ばにかけて主題図が大きく発展した時代が描かれる。科学の発展と統計や自然環境への関心の高まり、さらに工業や商業などの経済の発展といった社会の動きが、地域の特徴を視覚的にとらえるための主題図の需要を高め、多様な表現の誕生を後押ししたことが具体的に示されている。

本書の中盤では、自然、人口や言語といった人文的テーマに加え、犯罪や感染症といった社会的課題を扱った主題図の事例も紹介される。いずれも今日の教科書

地図帳で見慣れた表現の源流にあたるものであり、当時の社会的関心や統計整備と深く結びついていたことが伝わってくる。

後半に入ると、階級区分図、ドットマップ、等値線図、円比例図といった数量や分布を記号化して表現するための技法について、その成り立ちや発展が整理されている。地図制作者が「どうすれば情報をわかりやすく伝えられるか」を試行錯誤してきた歩みがみえてきて、主題図の表現技法が体系的に理解できる構成となっている。

本書を通じて、主題図というものが時代の流れとともに地域を分析するニーズを背景に発展してきたことを改めて実感した。さまざまな地域や縮尺で効率よく主題図を作成する必要性が高まるなかで、こうした課題に応える技術としてGISが発展していったのではないかと感じる。

本書は1982年に英語で出版され、主題図の成り立ちや特徴を体系的にまとめた数少ない文献である。今回の全訳によって、より広く読まれるようになったのは大きな意義だろう。主題図は人類の営みに呼応するように、時代ごとの関心や課題に応じて多様なものがつくられてきた。地図制作に従事する身として、今まさに必要とされる地図とは何かを改めて考えさせられるきっかけとなった。地図を制作する人はもちろん、地理を学ぶ人にとっても、ぜひ手に取ってほしい一冊である。

(平凡社地図出版 中島健太)

昭和100年地図帳

平凡社 編

A4判 160頁

発行 平凡社 2025年2月

定価 2,640円(本体2,400円+税)

令和7年は、終戦から80年、昭和元年から100年という節目の年で、これに関する書籍が多く出版されている。表題の本もこの中の一冊である。

表紙には『昭和100年地図帳、地図とデータ、年表で見る昭和と令和、日本全国47都道府県100年の変化』とある。中扉には『昭和100年地図帳』とあることから下線は表題の説明文と見受けられる。

そして、100年前の地図帳としては、大正13(1924)年刊行の小川琢治『日本地図帖』(以下『日本地図帖』)を掲げ、これと現在の地図帳と対比させ、この変化を知ろうというのが本書の骨子となっている。

『日本地図帖』は縮尺1/100万の地勢図と、縮尺1/50万の地形図(いずれも500m段彩)とからなり、当時の日本領土を網羅している。とりわけこの1/50万の地形図は府県郡市町村名を網羅し、郡市境界が記されていること、別巻に添えられた地名索引と共に画期的な地図帳とされたものである。なお、製図は木崎



盛政により、大変読みやすくなっている。

『昭和100年地図帳』は『日本地図帖』の1/100万の地勢図(近畿全図の2図は地勢図がないため1/50万の地形図を使用)を取り出し、これと100年後である現今の地図を並べ比較したものであるが、1/50万の地形図の特徴(豊富な地名)が利用できていないのが少し残念である。とりわけ『日本地図帖』の関東地勢図は縮尺1/100万であるが、本地図帳ではこれを更に77.5%に縮小しているので地名の読図は少し難しい。とはいっても、この100年間における地図の変遷がこの一冊で見比べることができるのは圧巻である。

この100年の変化は、自然地理の変化というより、人文地理の変化であり、郡市町村名と境界の比較から十分理解できる。昭和元年と現在（令和7年）の都道府県図、郡と付属する町村名も重宝で、対比ができていたので100年の変化を容易に知れる。これにより（行政上の）市域の拡大の顕著なことが明瞭である。

また、さらに地形描画表現という観点からみると『日本地図帖』は陸域では0～100mの平野部は黄緑色、100m以上はほぼ500m間隔の茶色系の段彩であるが、現今の地図帳では等高線表示に替え、より精密なレリーフ調の表現となっている。したがって、起伏はより立体的でわかりやすく、水色の水系と相まって地形描画

は長足の進歩がわかる。ただし、地図帳としての製本技術の観点からみると『日本地図帖』は足継ぎによる見開きや折り込みによる製本で図郭の自由度が大きく、これにより縮尺の統一が図られている。このような製本は現在では困難であろう。なお、改めて『日本地図帖』の現物図と本『昭和100年地図帳』の中の複製図の同一場所とを見比べてみたが（ルーペなしでは）区別をつけるのは困難な程忠実である。

次の100年後にも同一の企画があるとすれば、令和の地図の複製製版印刷技術が称えられるかもしれない。
（技術コンサルタント 井田浩三）

大人のための離島探訪

一島の不思議を凸凹地図で体感！

東京地図研究社 著

A5判 208頁

発行 技術評論社

2025年2月

定価 2,420円（本体2,200円＋税）

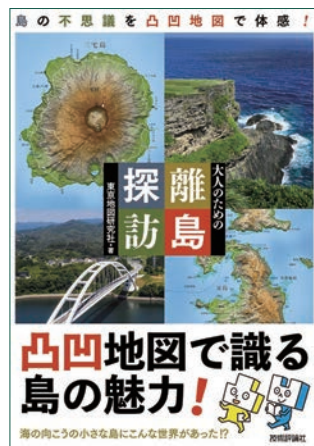
本書を手に取り、まず思ったのは、何とカラフル、ビジュアルかつコンパクトな島巡りガイドブック本で、島々を訪れてみたくなる本であるということである。

日本は島国で、その数は6千とも、1万を超すといわれたりもする。これは島をどのように定義するかにより異なってくる。国連海洋法条約では、“島は自然に形成された陸地であって、水に囲まれ、高潮時においても、水面上にあるもの”と定義される。日本の理科年表などでは島を周囲長が0.1km以上と定義し、国土地理院は2023年にこの定義に基づく島の数14,125と発表した。本書はこのような島の中から内陸の島も含め86の島々を以下の6つのカテゴリーに分類し、加えて、2つのコラムで島に関する話題を紹介している。

各島については東京地図研究社独自の凸凹地図（多重光源陰影段彩図）に地理概説を加え、風土や知られざる魅力を軽快なタッチの文章で迫る。凸凹地図では火山地形、断層、隆起サンゴ礁地形などの表現は効果的で、各島に付される副題は、キャッチコピー的で各島の特色を端的に表している。

章立ては、第1章 旧跡と遺産-島が語る歴史、第2章 地質と地形-島の成り立ち、第3章 生態と文化-島が育む生命、第4章 食文化-島を味わう、第5章 暮らしと風土-島を歩く、第6章 異境との交流-世界と繋がる島の6章で、コラム1は、「島の数のナゾ」、コラム2は、「これも「島」!？」である。

第1章では厳島、大三島、江田島など29島を取り上げ、厳島は“神々の息遣いを感じる世界遺産の島”として紹介している。第2章では利尻島、佐渡島、伊豆大



島など22島を取り上げている。伊豆諸島は噴出する溶岩の種類により「黒い島」（伊豆大島、三宅島など）と「白い島」（新島、神津島など）に分かれることなど、興味深い。第3章では対馬、屋久島など14島が取り上げられ、ツシマヤマネコ、縄文杉、イリオモテヤマネコなどを育ててきた各島の特異な自然が興味深い。第4章では小豆島、壱岐島など6島が取り上げられ、小豆島では瀬戸内海型気候が育んだオリーブの島が目につく。第5章では竹富島、礼文島など18島が取り上げられ、竹富島ではのどかな情景が目につく。第6章では、父島、種子島、宮古諸島など19島が取り上げられ、領土の島として北方四島、竹島、尖閣諸島が紹介されている。

筆者は現役時代に、海図による島の数や日本の領海や排他的経済水域（EEZ）設定作業にも携わってきた。我が国はEEZの面積で世界で6番目の広さを有することになったが、EEZのうち6割は、北海道、本州、四国、九州の主要4島以外の南方諸島、南西諸島、南鳥島、沖ノ鳥島などの遠隔離島を根拠にしている。また、南鳥島周辺には近年、戦略的に重要なレアアースが大量に眠ることが分かってきた。

本書の目的では必要がないことかもしれないが、このような遠隔離島の持つ重要性もコラムなどで触れてあれば、さらによかったと思われた。

（元海上保安庁海洋情報部 八島邦夫）

日本の祭り
と
伝統行事

取材をもとに作成した
21の特集ページ!



**A4判／オールカラー
232ページ
定価2,970円
(本体 2,700円+税)**

 帝国書院

[illegible]


 地図で楽しむ日本の祭り

資料室

2025年6月～2025年8月

本号の資料室は、『地域情報ニュース』2025年6月号～2025年8月号(5～7月データ)に収録されている951件の中から143件を選んで掲載しました。

数字は出典日:年-月-日-番号
(『地域情報ニュース』の管理番号)

掲載した地図は「資料室」のデータを補完するために作成したもので、正確な地図ではない。一部、予想や省略の部分がある。

1101 行政区画

25-05-09-001 秋田県

大仙市と秋田県美郷町の境界変更、2025年5月10日施行。大仙市に編入する区域は、秋田県美郷町安城寺字切上328-8の一部、字鶴田425-2の一部、426-2の一部、427-2の一部、485-1、485-2、489-1の一部、490-1の一部、491-1の一部、519の一部、564-2の一部、612の一部、617の一部、625の一部、518の一部、519の一部、564-2の一部、625の一部、626の一部、633の一部、636の一部、637の一部、639-1の一部、650の一部、字竹花21-1、21-2から21-4までの各一部、21-5、26-2の一部、26-3の一部、29-2の一部、29-4、298の一部、299、300、301-1、301-2、302-1、364の一部、425の一部、426-428の一部、432、433。秋田県美郷町に編入する区域は、大仙市上野田字向田11-4、11-5、20-2の一部、20-3の一部、47～50、52、53、54-1、54-2、56-1～56-3、57の一部、58、62の一部、63、字水口68-17の一部、高梨字一ノ坪282-1～282-3、283の一部、284の一部、299-2の一部、299-5の一部、299-7、299-8の一部、327の一部、328～334、353の一部、354の一部、373の一部、374の一部、440-2の一部、452の一部、453の一部、橋本字鶴田69の一部、97の一部、196の一部、197の一部、198-3の一部、426-2の一部、441の一部。

1103 行政庁

25-06-10-001 北海道

「江別市役所」新庁舎(江別市向ヶ丘26、江別高校跡地)、2029年1月供用開始予定。4階建て。延べ床面積約1万3950平方メートル、敷地面積4万7175平方メートル。

25-05-01-001 北海道

「厚真町役場」庁舎と周辺公共施設(厚真町京町165-1、現庁舎南西側に隣接)の再編整備、役場庁舎は2027年12月末、文化交流施設は2027年度内完成予定。計画内容を見直し、新庁舎は3階建てか

ら2階建てに変更。文化交流施設も当初計画していた個室のプラネタリウムに変え、フルオープン型の映像展示スペースを配置。

25-05-20-001 宮城県

「気仙沼市役所」新庁舎(気仙沼市田中177外、旧市立病院跡地)、2027年10月完成予定。地下1階、地上4階建て。延べ床面積9222平方メートル。敷地面積2万6000平方メートル。

25-06-12-001 山形県

「大蔵村役場」新庁舎(大蔵村大字合海)、2026年11月30日完成予定。3階建て。延べ床面積3865平方メートル。図書室、集会室(体育館)などを備える複合施設となる。

25-07-19-001 茨城県

「桜川市役所」新庁舎(桜川市羽田1023外、大和東庁舎南側)、新庁舎は2027年8月31日、新東庁舎は2029年当初開庁予定。3階建て。延べ床面積6681平方メートル。

25-06-20-001 茨城県

「鉾田市役所」新庁舎(鉾田市安房南地区、県道下太田鉾田線の東側)、2033年度供用開始予定。3～4階建て。延べ床面積約1万6830～2万1430平方メートル、敷地面積約3万8800～4万3800平方メートル。市役所、図書館、鉾田中央公民館、市福祉事務所、鉾田保健センターなど13施設を統合。

25-07-03-001 埼玉県

「川口市新庁舎第2期棟」(川口市青木2-1-1)、2025年7月27日完成。6階建て。延べ床面積1万7664平方メートル、敷地面積8649平方メートル。

25-05-29-001 埼玉県

「伊奈町役場」新庁舎(伊奈町中央4-355外)、2028年1月開庁予定。4階建て。延べ床面積約7600平方メートル。

25-06-12-002 東京都

「品川区新総合庁舎」(品川区広町2-2-5)、2029年6月竣工予定。地下2階、地上14階建て。延べ床面積6万1796平方メートル。

25-07-31-001 東京都

「北区役所」(北区王子1丁目)、2033年度頃開庁予定。地下1階、地上13階建て。延べ床面積約4万8500平方メートル、敷地面積約1万平方メートル。

25-05-27-001 東京都

「奥多摩町役場」新庁舎(奥多摩町氷川200-14外、青梅線奥多摩駅の東側)、2027年8月竣工予定。2階建て。

25-06-18-001 神奈川県

「横浜農業合同庁舎」(横浜市区緑区三保町2076)、2031年3月31日完成予定。延

べ床面積約2200平方メートル程度。

25-06-25-001 富山県

「魚津市役所」新庁舎(魚津市釈迦堂1丁目10-1)、2030年度供用開始予定。延べ床面積約6500平方メートル。分散している本庁舎と第1、2分庁舎、健康センターの「子育て部門」を集約する。

25-06-24-001 富山県

「小矢部市役所」新庁舎(小矢部市本町1-1、現敷地)、2028年5月供用開始予定。4階建て。延べ床面積約6290平方メートル、敷地面積約9000平方メートル。

25-06-02-001 福井県

「池田町庁舎・複合施設」(池田町藪田、里文化交流会館跡地)、2027年5月31日完成予定。平屋建て。延べ床面積2965平方メートル。図書館と公民館を併設。

25-07-01-001 長野県

「松本市役所保健所庁舎(仮称)」(松本市芳野19-4外)、2028年度末完成予定。3階建て。延べ床面積約4000平方メートル、敷地面積約5000平方メートル。

25-06-03-001 滋賀県

「大津市役所」新庁舎(大津市御陵町、皇子山総合運動公園)、2032年度供用開始予定。6階建て。延べ床面積約2万5000～2万7000平方メートル。

25-05-04-001 大阪府

「島本町役場」新庁舎(島本町桜井2-1-1、現敷地)、2025年5月7日開庁。新庁舎は4階建て。

25-07-07-001 島根県

「大田市役所」新庁舎(大田市大田町地内、JR大田駅前)、2030年度末完成予定。庁舎は5階建て。延べ床面積約6990平方メートル。駐車場は2階建て。同約1760平方メートル。

25-05-07-001 岡山県

「美作市役所」新庁舎(美作市北山1590)、2025年5月7日開庁。2階建て。延べ床面積約7200平方メートル。

25-05-30-001 愛媛県

「愛媛県庁第二別館」(松山市一番町4丁目4-2)、2026年1月完成予定。地下1階、地上11階建て。延べ床面積約1万4500平方メートル。

25-05-15-001 福岡県

「筑後市役所」新庁舎(筑後市大字山ノ井898、現敷地)、2029年6月完成予定。延べ床面積約9500平方メートル以内、敷地面積約2万平方メートル。

25-06-05-001 沖縄県

「与那国町複合庁舎」(与那国町字与那国854-1)、2028年4月3日供用開始予定。地下1階、地上2階建て。延べ床面積約4700平方メートル。地下にシェルター機能を設ける。

1202 私鉄線

25-06-30-002 東京都

西武新宿線「中井駅」(中野区上高田5丁目)～「野方駅」(同区野方4丁目) 間約2.4km地下化、2026年度事業完了予定。中野通りなど7か所の踏切を除却、新井薬師前駅と沼袋駅の2駅が地下駅となる。沼袋駅は2面4線の相対式ホームから、2面4線の島式ホーム化。新井薬師前駅は2面2線の相対式ホームから1面2線の島式ホームとなる。

25-06-20-002 愛知県

名古屋鉄道瀬戸線「小幡駅」(名古屋市守山区小幡南2丁目)～「大森・金城学院前駅」(同区大森3丁目) 間約1.9km立体交差事業、2025年7月26日、下り線を高架に切り替え。上り線は2022年3月19日に切り替え済み。これにより事業区間8か所の踏切が新たに廃止。

25-07-10-001 大阪府

南海本線連続立体交差事業、完了時期を従来の2027年度末から2033年度末へと6年延伸。南海本線の石津川駅南側(堺市西区浜寺石津町中)から羽衣駅北側(高石市東羽衣1)までの約2.7kmを高架化、7か所の踏切を除却。諏訪ノ森駅と浜寺公園駅の2駅を高架駅に建替。

25-07-13-001 広島県

広島電鉄「駅前大橋ルート」(広島市南区、比治山町交差点～広島駅、延長約

1.1km)、2025年8月3日開通。新たな広島駅停留場は、広島駅の新駅ビル「minamoa」の2階に設置。

1203 高速国道

25-07-31-004 岐阜県

中央自動車道「神坂スマートIC」(中津川市神坂、神坂PA内、「恵那山トンネル」の名古屋側)、2025年秋開通。市道神坂44号線・市道神坂45号線に接続。

25-06-05-003 岐阜県

東海環状自動車道「本巣IC」(本巣市上保)～「大野神戸IC」(岐阜県大野町下磯) 間6.8km、2025年8月30日開通。

25-05-02-002 長崎県

西九州自動車道「松浦佐々道路」のうち、「松浦IC」(松浦市志佐町)～「平戸IC」(佐世保市江迎町) 間約7.5km、2025年度開通予定。

25-05-17-001 広島県

「広島高速5号」(広島市東区温品町～同区二葉の里3丁目、延長約4.0km)、2027年度上期開通予定。

1205 有料道路

25-06-05-004 青森県

「青森空港有料道路」(青森市大谷、延長約1.7km)、2027年7月無料化予定。

1206 一般国道

25-07-18-001 岩手県

国道107号「大石トンネル」(西和賀町、延長約1420m)、2025年7月8日貫通。同年冬前に復旧ルートを開通させる計画。大石トンネルを含めた復旧ルートは全長約1800m。

25-06-28-001 山形県

国道344号「安田バイパス」(酒田市上安田～上野曽根、延長約3.08km)、2025年10月開通。

25-06-25-002 福島県

国道399号「飯坂東バイパス(仮称)」(福島市飯坂町湯野地区～市飯坂支所近く、延長約1.9km)、2026年度事業化予定。完成時期不明。飯坂支所南側から福島交通飯坂線の線路や摺上川を立体交差でまたぎ、湯野地区で国道399号に接続する。

25-06-27-003 福島県

国道288号「船引バイパス」(田村市、延長約6.8km)のうち、同市船引町船引～常葉町西向、延長約4.0km、2025年度開通予定。これで全線開通。

25-05-15-003 新潟県

国道49号「水原バイパス」の阿賀野市神社～同市百津、延長約2.7km、2025年6月8日開通。これで全線(延長約8.1km)開通。

25-06-14-002 滋賀県

都市計画道路「山手幹線」(国道1号「栗東水口道路」(栗東市小野～同市上砥山、延長約0.9km)と県道2号「大津能登川長浜線」(草津市馬場～栗東市上砥山、延長約1.7km。うち、約1.0kmは2025年3月15日開通)、2025年8月23日開通。

25-06-17-002 兵庫県

国道178号バイパス、山陰近畿自動車道「竹野道路」(豊岡市内新堂～同市竹野町林間、延長約4.9km)、2033年度開通予定。

25-06-10-003 京都府・兵庫県

道429号「榎峠トンネル(仮称)」(丹波市青垣町～福知山市間)、2026年度末供用開始予定。全長1092m。

25-06-10-004 和歌山県

国道42号バイパスの「有田海南道路」(有田市野～海南市冷水間9.4km)のうち海南市側の2.9km(海南市下津町小南～同市冷水)、2025年6月7日開通。2023年2月には有田市側の0.2kmが開通している。残る6.3kmの開通時期は未定。

25-05-17-002 島根県

国道186号「新笹ヶ峠トンネル」(浜田市金城町小国、延長425m)、2025年5月17日開通。



広島市電の広島駅乗り入れと路線変更
背景は地理院地図VECTOR

25-06-03-003 徳島県

国道192号バイパス「徳島南環状道路」の「僧津山トンネル」(徳島市一宮町僧津山～同市上八万町川西)、2025年5月30日貫通。トンネル長855m。

1207 都道府県道**25-06-30-003 北海道**

道道小樽環状線「最上トンネル」(小樽市最上～同市塩谷、延長約1.8km、うちトンネル長約1.2km)、2026年度開通予定。

25-06-27-005 福島県

復興シンボル軸「県道井手長塚線」(双葉町、延長約5km)のうち、長塚跨線橋を含む約0.5km、2025年8月1日開通。JR常磐線を跨ぐ。

25-07-29-003 茨城県

県道221号「飯岡石岡線バイパス」(石岡市中津川～同市国府(国道6号・国道355号恋瀬橋北交差点)間約2.3km)、2025年8月20日開通。今回開通するのは国道6号・国道355号に接続する残りの0.4kmで、これで全線開通。

25-06-18-003 茨城県

県道7号 石岡筑西線バイパス「上曾トンネル」(石岡市上曾～桜川市真壁町山尾、延長5.58km、うちトンネル長3538m)、2025年9月27日開通。

25-07-10-002 茨城県

「主要地方道土浦竜ヶ崎線」バイパス(茨城県阿見町実穀～牛久市結束町、延長5350m)、2026年度開通予定。開通するのは主要地方道土浦稲敷線～牛久阿見IC間役2.1km区間で、牛久阿見ICより南側約3.3kmは供用済み。

25-05-17-003 東京都

都道311号環状八号線「穴守橋東」交差点(大田区羽田)、2025年5月31日開通。

25-05-10-001 東京都・神奈川県

都市計画道路「放射3号線」の「等々力大橋(仮称)」(世田谷区玉堤2丁目(目黒通り)～川崎市中原区宮内1丁目(都市計

画道路「宮内新横浜線」)、延長385.9m、多摩川)、2030年度末完成予定。約5km離れる二子橋(国道246号)と丸子橋(中原街道)の中間部分。

25-05-27-003 三重県

「主要地方道御浜紀和線(県道62号)」改良工事(御浜町柿原、延長約700m)、2025年5月30日開通。

25-05-07-002 兵庫県

兵庫県道18号「東播磨南北道路」(加古川市、加古川中央JCT(国道2号加古川バイパス)～小野市、国道175号バイパス間約12.1km)のうち、「八幡三木ランプ」(加古川市八幡町上西条)～「小野ランプ」(小野市池尻町)、延長約4.4km、2025年秋開通。これで全線開通。

25-05-01-002 鹿児島県

大隅縦貫道「吾平道路」(鹿屋市吾平町下名～同市吾平町上名、延長約4.2km)、2025年度開通予定。

1208 都市計画道路・市町村道**25-06-09-001 福島県**

町道東67号線(大熊町大川原地区～国道6号、延長約4.7km)、2025年6月10日開通。今回開通するのは約1km。

25-07-30-003 千葉県

都市計画道路「藤崎茜浜線(2工区)」(習志野市鷺沼台2丁目地先～同市鷺沼2丁目地先、延長635m)、2025年度開通予定。「JR総武線・京成千葉線」と「京成本線」がクロスしている部分に架橋。

25-06-10-005 大阪府

都市計画道路「十三高槻線」の正雀工区(約1.3km、吹田市岸部南3～摂津市正雀本町1)、2025年6月8日開通。同工区のうち計約800mは供用済み。阪急京都線の跨線橋を含む残り約500mの区間(吹田市吹東町～南正雀)が完成して全体が開通。

25-05-03-001 熊本県

都市計画道路「熊本西環状道路」(熊本市南区砂原町～同市北区下硯川町間約

12km)のうち、池上工区「花園IC」(西区花園7丁目)～「池上熊本駅IC」(西区池上町)間約4.6km、2025年秋開通。

25-07-13-003 鹿児島県

「鹿児島港臨港道路(鴨池中央港区線)」(鹿児島市鴨池新町、鴨池港～宇宿)、2030年度完成予定。海上部分は計1.1km。

1211 航路**25-05-23-002 岐阜県・愛知県**

渡し船「中野の渡し」(愛知県営西中野渡船場)「(一宮市(旧尾西市)西中野～羽島市、木曾川、県道羽島稲沢線の一部)、2026年3月廃止。県道羽島稲沢線「新濃尾大橋」が2025年5月に開通したため。

1212 航空**25-05-23-003 千葉県**

「成田空港」(成田市)で、3本目の滑走路新設と既存滑走路の延伸に向けた本格工事が2025年5月開始。新滑走路は2029年3月供用開始予定。現在はA滑走路(4000m)とB滑走路(2500m)が運用中だが、今後C滑走路(3500m)を新設。B滑走路も1000m延伸。

25-07-30-004 沖縄県

「新石垣空港」(石垣市字白保)、2025年8月7日、「石垣空港」に名称変更。愛称の「南ぬ島 石垣空港」は変更しない。

1302 ダム・発電所**25-05-16-001 青森県**

「小田野沢Ⅲ風力発電事業(仮称)」(むつ市と東通村境)、2033年3月完成予定。出力16万2000kW、実施想定面積約1686ha、30基。

25-06-10-006 宮城県

治水ダム「川内沢ダム」(名取市愛島笠島、名取川水系川内沢川)、2026年度完成予定。重力式コンクリートダム。堤高36.7m、堤頂長140m、総貯水容量179万立方メートル。

環境への配慮と確かな技術力で

カーボンオフセット印刷
詳しくは HP へ

営業品目

広告企画

販売促進

デザイン

レイアウト

…各種プランニングからデリバリーまで

大判ポスター

カレンダー

カタログ

会社案内

書籍

雑誌

伝票

…各種出版物の制作

情報処理

CD-ROM

DVD

Web

…各種企画製造



きれいな文字、うつくしいカラー
株式会社 木元省美堂



本社／〒112-0011 東京都文京区千石2丁目44番5号
営業部／〒113-0033 東京都文京区本郷1丁目20番3号中山ビル6階
生産本部／〒335-0034 埼玉県戸田市笹目8丁目15番27号
HP <http://www.kimoto-sbd.co.jp> E-mail info@kimoto-sbd.co.jp

TEL 03-3946-3541(代)
TEL 03-6240-0588
TEL 048-421-8571(代)
FAX 03-6240-0608
FAX 048-422-0790

25-06-17-003 秋田県

「鳥海ダム」(由利本荘市鳥海町百宅)、2029年度完成予定。2031年度の試験湛水、2032年度の事業完成を計画。台形CSGダム。1級河川・子吉川の河床を深さ40mまで掘り下げ、堤高81mの半分が地中に埋まる全国的にも珍しい構造。堤頂長380.4m。浸水被害軽減や水道用水供給、発電を目的に開発。

25-07-25-002 福井県

治水ダム「吉野瀬川ダム」(越前市広瀬町広瀬、九頭竜川水系吉野瀬川)、2025年7月24日本体完成。重力式コンクリートダム。堤高58m、堤頂長190m、総貯水容量780万立方メートル。全体完成は2026年6月頃の予定。

25-05-27-004 高知県

多目的ダム「和食^{わじき}ダム」(高知県芸西村西谷、2級河川和食川上流)、本体建設工事が2025年6月30日完了。2013年10月着工、2024年10月試験湛水開始。重力式コンクリートダム、堤高51.0m、堤頂長131.5m。

25-05-07-003 群馬県

「auRE群馬県吾妻郡東吾妻町太陽光発電所(仮称)」(東吾妻町厚田鳥帽子1986-4、1986-496外、県畜産試験場吾妻肉牛繁殖センター跡地)、2029年3月完成予定。施行区域面積約95.9ha、モジュール容量2万9900kW。

25-05-30-004 福岡県

「北九州市響灘太陽光発電所」(北九州市若松区響町、Jパワー若松総合事業所内)、2025年5月27日稼働。出力29.999MW、敷地面積約35万5000平方メートル。

1304 主要建造物

25-05-23-004 福島県

「イオンモール郡山」(郡山市日和田町小原1)、2027年3月末完成予定。4階建て。延べ床面積9万6037.81平方メートル、敷地面積16万2399.03平方メートル。

25-06-04-003 千葉県

「三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY北館建替え計画」I期(船橋市浜町2-1-1)、2025年10月完成、II期完成時期不明。3階建て。建替後の延べ床面積約10万3200平方メートル。

25-05-26-003 東京都

「MUFG本館」(千代田区丸の内2-5外、MUFG本社・三菱UFJ銀行本館)、2030年10月末完成予定。地下4階、地上28階建て。延べ床面積17万1934平方メートル、敷地面積1万8937平方メートル。

25-07-22-005 東京都

「品川駅西口地区再開発複合施設」(港区高輪3-13-1、グランドプリンスホテル新高輪跡地)、2032年度完成予定。地下4階、地上31階建て。延べ床面積約26万8000平方メートル。

25-07-31-010 大阪府

「淀屋橋ゲートタワー」(大阪市中央区北浜4丁目104)、2025年12月竣工。地下2階、地上29階建て。延べ床面積約13万2330平方メートル、敷地面積約1.7ha。

1305 企業

25-07-01-005 千葉県

地方銀行「千葉銀行」(千葉市中央区)と同県3位の「千葉興業銀行」(同市美浜区)、2025年7月、経営統合する方向で調整していることが判明。実現すればふくおかフィナンシャルグループ(FG)に次ぐ2位の規模の地銀グループが誕生する見通し。

1306 工業団地・工場

25-07-03-005 宮城県

工業団地「松島イノベーションヒルズ」(松島町初原字宮ノ入)、2026年10月先行部分(約12.8ha)の引き渡し予定。総面積約54.6ha、分譲面積約28ha。

25-05-15-006 秋田県

「下新城地区工業団地」(秋田市下新城中野字街道端西地内)、2026年度分譲

開始。整地面積約29.7ha(開発面積約54.5ha)。第一期では北側10haを2026年度、第二期では南側19.7haを2028年度に分譲開始する予定。

25-06-26-012 長崎県

「諫早平山産業団地(仮称)」(諫早市平山町、栗面町、小ヶ倉町の一部、既存の南諫早産業団地の南側)、2028年度造成完了予定。分譲面積は約12ha。緑地、調整池のほか周辺に4本の市道を整備。

25-06-04-012 宮城県

「東京エレクトロン宮城・宮城生産革新センター」(大和町テクノヒルズ83、岩倉地区)、2027年夏完成予定。5階建て。延べ床面積約8万8600平方メートル、敷地面積約11ha。

25-07-16-008 神奈川県

日産自動車は2025年7月15日、「追浜工場」(横須賀市夏島町1)の生産を2027年度末に終了すると発表。車両生産は日産自動車九州(福岡県荏田町)に移管。「日産車体湘南工場」(平塚市)も2026年度までに生産を終了、他の工場は生産を継続。国内工場の生産能力を大幅に削減するのは、2001年の村山工場(武蔵村山市)の閉鎖以来、約25年ぶり。生産終了後の追浜工場について、現時点では未定。

1307 区画整理・都市開発

25-06-03-008 東京都

「築地市場跡地再開発」(中央区築地5、6丁目各地内)、2038年度までに完成予定。敷地面積約19.5ha。1期は2032年度末までに舟運・シアターホール複合棟やライフサイエンス・商業複合棟など8棟合計延べ床面積約103万平方メートルの施設を造る。2期は38年度までにオフィス棟(延べ床面積約23万平方メートル)を建設。

25-07-22-014 東京都

「TOFROM YAESU(トフロム ヤエス)」(中央区八重洲1丁目、東京駅前八重洲1

KYOHAN

教科書販売株式会社

教販は教育の一端を担う使命感を誇りに、
新しい時代を見つめて進みます。

事業
内容

教科書および教育に関する図書・教材教具・機械等および一般出版物の取次販売業
日用品・雑貨等の保管、荷造および配送



〒343-0822 埼玉県越谷市西方3130-5(本社事務所・配送センター)
Tel. 048-961-2600 Fax. 048-961-2608

丁目東地区第1種市街地再開発事業)、2026年完成予定。A地区の低層棟「TOFROM YAESU THE FRONT」は事務所、店舗、診療所等で、地下2階、地上10階建て。延べ床面積約1万2000平方メートル、敷地面積約1300平方メートル。同年7月完成予定。B地区の高層棟「TOFROM YAESU TOWER」は事務所、医療施設、劇場・カンファレンス、バスターミナル、店舗、住宅等で、地下4階、地上51階建て。延べ床面積約22万5000平方メートル、敷地面積約1万0600平方メートル。同年2月完成予定。

25-06-09-012 東京都

「高輪三丁目品川駅前地区市街地再開発」(港区高輪3)、D地区は2030年度、B-1地区は2032年度竣工予定。B-1地区のうちB-1-2地区は事務所、商業、ホテル、住宅、MICEで、地下4階、地上31階建て。延べ床面積約26万8000平方メートル。B-1-1地区は0.9haの公園。D地区は住宅・商業施設で、地下2階、地上34階建て。延べ床面積約4万6100平方メートル。

25-07-03-007 東京都

「浜松町ビルディング」(港区芝浦1-1-1)、2025年度内にも解体着手。地下3階、地上40階建て。延べ床面積約16万平方メートル。「東芝ビル」として1984年に竣工、東芝が当初から本社機能を置いていた。国内で解体される建築物として過去最大。跡地には大規模複合施設「BLUE FRONT SHIBAURA (ブルーフロント芝浦)」の「N棟」を建設、2030年度の竣工予定。同年3月には南側の「S棟」が竣工、同年9月に全面開業。

25-07-22-013 東京都

「三田三丁目プロジェクト(仮称)」(港区三田3-13-16外、三田3丁目MTビル、三田43MTビル、三田MTビルなど跡地)、2031年度完成予定。延べ床面積約13万平方メートル、敷地面積約1万1300平方メートル。

25-05-20-009 東京都

「クロス金町」(東京都葛飾区東金町1丁目、東金町一丁目西地区市街地再開発)、商業施設および自動車教習所を中心とするI期開発は2025年7月中旬(地下1階、地上5階建て)、マンション(地下1階、地上40階建て)・商業棟および公益施設(地下1階、地上4階建て)からなるII期開発は2030年11月竣工予定。商業施設名称は「MARK IS (マークイズ) 葛飾かなまち」。総延べ床面積約15万9310平方メートル、敷地面積2万4755平方メートル。中層階には「金町自動車教習所」が2025年8月に開業。

1308 流通施設

25-07-15-006 千葉県

国際物流拠点「WING NRT (ウイングナリタ)」(成田市下福田地区)、2029年開業予定。上屋棟は4階建て。延べ床面積約15万平方メートル。物流棟は2～3棟構成で30万平方メートル程度。敷地面積約45万平方メートル。

25-05-07-005 愛知県

マルチテナント型物流施設「DPL小牧」(小牧市下小針中島2-144外)、2025年5月1日開業。5階建て。延べ床面積19万2385.22平方メートル、敷地面積8万5716.62平方メートル。

25-05-08-013 愛知県

マルチテナント型物流施設「プロロジスパーク東海」(東海市、東海太田川駅西土地区画整理事業産業物流地区)、2027年5月完成予定。4階建て。延べ床面積約16万4000平方メートル。

25-06-16-014 大阪府

「大阪市淀川区加島3丁目物流施設計画(仮称)」(大阪市淀川区加島3-807-2の一部外)、2027年12月完成予定。6階建て。延べ床面積約21万1500平方メートル、敷地面積9万4301平方メートル。

1401 文化財

25-05-16-011 全国

文化審議会は2025年5月16日、1件の建造物を国宝に、8件の建造物を重要文化財に新規に指定することを文部科学大臣に答申。この結果、官報告示を経て、国宝・重要文化財(建造物)は、2597件、5569棟(うち国宝233件、303棟を含む)となる予定。【国宝】「琵琶湖疏水施設 第一隧道ほか3所1基」(大津市、京都市)。【重要文化財】「スカイハウス(旧菊竹清訓自邸)」(文京区)、「旧京藤家住宅」(福井県南越前町)、「建中寺本堂」(名古屋市中区)、「建中寺徳川家御霊屋本殿・合間・経殿、唐門、透塀」(名古屋市中区)、「旧今井貯木場施設」(豊田市)、「琵琶湖疏水施設16所4基4棟」(大津市、京都市)、「旧下村家住宅洋館」(京都市)、「太陽の塔」(吹田市)。

25-06-20-015 全国

文化審議会は2025年6月20日、特別史跡の新指定1件、史跡名勝天然記念物の新指定7件・追加指定等31件及び登録記念物の新登録6件を文部科学大臣に答申。この結果史跡名勝天然記念物は3390件、登録記念物は143件となる。【特別史跡】「原爆ドーム(旧広島県産業奨励館)」(広島市)。【史跡】「大聖寺城跡」(加賀市)、「香坂山遺跡」(佐久市)、「葦山城跡附付城跡」(伊豆の国市)、「坂本城跡」(大津市)、「多良木相良氏遺跡」(熊本県多良木町)、「崇元寺跡」(那覇市)。【天然記念物】「マチカネワニ化石」(豊中市)。【名勝地関係】「平木氏庭園」(金沢市)、「山田氏庭園」(金沢市)、「浮月楼庭園」(静岡市)、「旧八木商店本店庭園」(今治市)、「旧豊山閣庭園(旧旅館田川)」(北九州市)、「東南植物楽園」(那覇市)。

25-07-18-012 全国

文化審議会は2025年7月18日、登録有形文化財(建造物)に登録するよう文部科学大臣に答申。この結果、登録有形文化財(建造物)は、1万4630件となる。



TOTSUYA ECHO

株式会社 トーツヤ・エコー
ECOLOGY CONSCIOUS



www.totsuya-echo.jp/clearfile.html

ISO 9001 認証取得
ISO 14001 認証取得
抗菌製品技術協議会 正会員

「本の化粧屋さん」です。

あらゆる表面加工のラインナップをご提供しております。
「クリアファイルミュージアム」も展開しております。
詳しくは、ホームページをご覧ください。

営業統括本部

TEL 048-421-2233 FAX 048-421-2397

製造統括本部

TEL 048-421-2331 FAX 048-421-4973

<https://www.totsuya-echo.jp>

株式会社 トーツヤ・エコー

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13番地2



主なものは以下の通り。「オリエンタルカーペット株式会社マーセライズ棟ほか3棟」(山形県山辺町)、「旧山彦橋」(黒部市)、「善光寺雲上殿本殿」(長野市)、「名古屋市演劇練習館(旧稲葉地配水塔)」(名古屋市)、「大矢家住宅主屋」(交野市)、「宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス」(宝塚市)、「奈良文化財研究所飛鳥資料館本館」(奈良県明日香村)、「呉YWCA会館」(呉市)、「菊池恵楓園旧事務本館」(合志市)。

1402 文化施設等

25-05-16-012 愛知県

「名古屋アリーナ計画(仮称)」(名古屋市中港区金川町101-1の一部、ららぽーと名古屋みなとアクルス隣接地)、2027年10月31日完成予定。4階建て。延べ床面積2万7519平方メートル、敷地面積2万7293平方メートル。

25-05-24-002 京都府

「宮川町歌舞練場」(京都市東山区大和大路四条下る4丁目小松町130、新道通団栗下る2丁目下柳町165、宮川筋四条下る宮川筋4丁目306、元新道小学校跡地)、2025年5月23日開場式。地上3階、地下2階建て。483席。

1501 学校

25-06-17-015 兵庫県

「武庫川女子大学」(西宮市池開町6-46)、2027年度から共学化予定。「武庫川大学」へと改名予定。

25-05-24-003 広島県

「広島女学院大学」(広島市東区牛田東4-13-1)、2027年に共学化。大学名も変更予定。

1502 図書館

25-05-21-009 千葉県

「新千葉県立図書館・県文書館複合施設」(千葉市中央区青葉町、青葉の森公園北側)、2029年度開館予定。3階建て。

延べ床面積約1万8920平方メートル程度、敷地面積約1.85ha。

1601 病院

25-06-26-017 青森県

統合新病院(青森市大字浜田字豊田外)、2032年10月開院予定。病院棟は9階建て。延べ床面積約7万2600平方メートル。敷地面積約8万8500平方メートル。青森県立中央病院と青森市民病院を統合。

25-05-30-013 福島県

「福島県立医科大学付属病院再整備」(福島市光が丘1、現敷地)、2030年度建替・開院予定。延べ床面積約6万1000平方メートル(最大)、病床数695床。

1801 公園

25-06-30-020 福島県

福島県復興記念公園(浪江町、双葉町)内に整備している「福島国営追悼・祈念施設(仮称)管理施設」、福島県が整備する約50haの復興記念公園の完成に合わせ2026年3月完成予定。地下2階、地上1階建て、直径約200m。

25-05-27-019 岡山県

防災公園「倉敷ふれあいの丘公園」(倉敷市有域1265、旧山陽ハイツ跡地)、2025年10月4日開園。広さ約9.5ha。

1803 スポーツ施設

25-07-01-017 東京都

「TOYOTA ARENA TOKYO(トヨタアリーナ東京)」(江東区青海1丁目)、2025年10月3日開業。地下1階、地上6階建て。延べ床面積3万8039平方メートル、敷地面積2万6446平方メートル。

1901 河川

25-07-17-013 福井県・福岡県

国土交通省は2025年7月7日付で、一級河川を追加指定。対象は2水系2河川で合計0.4km。越前市を流れる九頭竜川水系吉野瀬川(約0.3km)と、直方市の

遠賀川水系川端川(約0.1km)の2河川。変更後の一級河川は全国1万4089河川、総延長8万8109.5kmとなる。

2003 外国・地方

25-07-24-014 フランス

フランスからの独立を巡る論争が続いてきた南太平洋に位置する仏特別自治体ニューカレドニア、フランス国内で一定の主権を持つ「国家」となる方針が決定、ニューカレドニアの独立派と独立反対派との間で合意が成立したと2025年7月12日発表。ニューカレドニアを仏憲法上で「国家」と明記。議会の承認と住民投票を経て、防衛など一部の主権の移譲や「国旗」や「国歌」の制定も可能に。

2004 外国・交通

25-05-27-022 カンボジア

新国際空港「テチョ国際空港」(カンボジア、プノンペン南約20km)、2025年9月9日供用開始。敷地面積約2600ha。

25-05-16-016 シンガポール

「チャンギ国際空港第5旅客ターミナル」(シンガポール)、2030年代半ば開業予定。既存空港に隣接する1080haの用地に第3滑走路や貨物ターミナルなどを整備。第3滑走路は既存の空軍設備を転用、2030年までに使用開始予定。

25-06-26-023 台湾

「台中メトロ(MRT)ブルーライン」(台湾、台中市、台湾鉄路(台鉄)台中駅近くの新建国市場～臨海部の台中港、延長24.78km)、2034年完成予定。

25-07-11-016 イタリア

「メッシーナ海峡大橋」(イタリアカラブリア州～シチリア島(シチリア自治州)、メッシーナ海峡)、2025年着工。工期は7年程度。中央径間3300mは世界最長。塔高は399m。

25-07-30-023 アメリカ合衆国

アメリカの鉄道会社「ユニオン・パシフィック」は2025年7月29日、米東部に鉄道路

「鎌倉・江の島」観光イラストマップ 価格350円



鎌倉、江の島の界隈の観光情報と立体的に描かれている絵地図が掲載されています。

絵地図は、鎌倉・江の島エリアの街並み景観を2万5千分の1(国土地理院発行)の地図、航空写真、衛星写真を基に、全て手描きによって仕上げました。鎌倉・江の島エリアの街並み景観(お寺、神社、公園、山並み、町名、道路、鉄道、建物施設等)が詳細に描かれています。

誰が見てもわかり易く、子供から大人まで楽しんで見ることができます。絵地図上の文字は英語も併記されています。

GPS機能と組み合わせて、なんと!絵地図上で現在地がわかります。(有料アプリ)
絵地図がGPS機能対応になっているので、絵地図上に現在地を表示します。お持ちのスマートフォン、タブレット端末に標準搭載されている地図と衛星写真にも切り替えて見ることができます。
対応機種 iOS 6以上/Android4以上
入手方法 「日本パノラマ散歩」で検索し、ダウンロードして下さい。
アプリ価格 360円(広告掲載時)



株式会社ジェオ
(GEO)

東京都千代田区神田神保町2-28
Tel. 03-3237-3356 Fax. 03-3237-3229
URL <http://www.geo-prd.co.jp>

車窓展望鐵道新旅行圖 附 滿洲國・中華民國鐵道圖(約85%縮小)

269×25.5cm、昭和16(1941)年4月、出版:日本統制地図株式会社、地図情報センター蔵

昭和初期といえば太平洋戦争(大東亜戦争)が最大の事件であることは疑いがない。この地図は開戦となった昭和16年12月の約半年前、4月20日に発行された。著作者の森田義春は、神田区今川小路(現神田神保町3丁目)にあった「九段書房」の社長で、戦後「(新)日本地図(株)」を立ち上げている。

本図は約2メートル半に及ぶ蛇腹折りで、樺太から台湾、朝鮮、満州、中国の路線と駅名が記載されている。また、車窓展望の名のごとく、図の上下には車窓から見える山や川などが描かれているのが楽しい。裏にはリスト形式だが、全国名所、神社仏閣、温泉、国立公園から土産物一覧などが沿線別に記載されている。戦時統制色が強まる中、「旅行」地図が発行できたギリギリのタイミングであっただろう。表紙には流線型の蒸気機関車、C55型のイラストを配している。流線型の車両は1930年代の世界的な流行で、日本や当時日本の支配下だった南満州鉄道(満鉄)でも採用された。

日本統制地図(株)は、1940(昭和15)年11月に多数の地図会社を統合して発足した民間の統制会社だが、検閲事務を取次ぎ、「統図登録番号」を各出版社に発給した。本図も表紙に「認」の検印(印刷)がある。その地図の内容によって、発行不許可は(無)、次回発行時訂正するものは(検)、そのまま発行してよいものは(認)の許可書がでたという。

(編集部)

